

SYDかわらばん

〈最新活動情報 No.195〉 2025年4月21日号

公益財団法人修養団「令和7年度事業計画基本方針」

創立120周年

次の世代に受け渡すべく進めよう“幸せの種まき運動”

蓮沼門三は修養団を創立した24歳の時から98歳で亡くなるまで、「総親和・総努力・総幸福」の明るい世界の実現を願い、ひたすら愛と汗の実践を重ねて日々を過ごされてきました。そして、その姿を通して日常活動や生活の心得を団員、会員にも示し続けられました。蓮沼門三初代主幹の没後45年目となる今年度の令和8年2月には創立120周年を迎えます。

明治、大正、昭和、平成、令和とそれぞれの時代に起きた大小さまざまな変遷の中でも修養団は会員と共に“愛汗運動”そして“幸せの種まき運動”を展開して参りましたが、創立120周年を機に門三主幹が願った「明るい世界の実現」を目指し、新しい修養団運動を展開していかねばなりません。

そのためにも修養団の「愛」と「汗」の実践という理念を肝に銘じながら、人々の暮らし方や過ごし方など人生の多様化に沿った新しい時代の公益事業はどうあるべきかを全国の会員および連合会・クラブの方々と対話し、学校や諸団体・機関の協力を得ながら模索し青少年の健全育成事業、家庭教育活動、講習・講演活動を次の世代に受け渡し、さらに飛躍すべく令和7年度は、新しい修養団運動に向け検討していくと共に“幸せの種まき運動”の一層の充実を図ってまいります。



SYD 活動と SDG s

SYD 活動のほとんどが SDG s の目標達成に通ずる

🌱 幸せの種まき献金/フィリピン支援・海外支援/震災ボランティア 🌱 自然体験キャンプ/家庭共育セミナー/各種講習会



十伊勢講習会

十沖繩遺骨収集

主催事業・活動等

報告

3/22…「Zoomでオンライン家庭《共育》ひろば」
“ストレスとうまく付き合おう～ストレスマネジメント講座～”13人 《土江梨奈子》



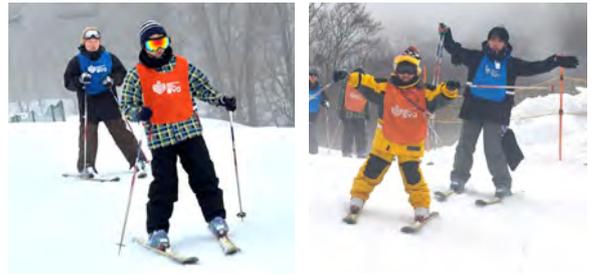
土江梨奈子さんによる講演。ストレスとその対処、自己効力感、「怒り」についてなどを臨床心理士、公認心理師の視点から解説・説明した。また、3年在住したブラジル・リオデジャネイロのことについても触れ、現地の画像を使いながら紹介した。

3/26～30…第2回「子ども自然体験スキーキャンプ」63人〔福島県・ばんだいふれあいびあ、ネコママウンテンスキー場〕《高橋源一郎、鈴木幸、佐藤由佳、谷野渉、増田航介、林春幸、鈴木綾》



福島・裏磐梯にはまだたくさんの雪が残っており、子どもたちは外でのレクリエーション、グループでの雪像作りなどで冬の大自然を思う存分楽しむことができた。

ネコママウンテンでのアルペンスキーでは、初めて参加した子どもたちも、指導を受けながら2日間で滑れるようになった。



3/31～4/4…「全国青年ボランティアの旅IN東北」

40人〔福島県・ばんだいふれあいびあ、宮城県〕
《震災遺構中浜小学校語り部ガイド、岩佐加寿子、山口千恵子、板倉和也、谷野渉、増田航介、林春幸》



北は北海道、南は沖縄から中学生、高校生、大学生等が参加。1日目はレクリエーションなどで参加者相互の親睦を深め、交流会での出し物を練習した。2日目は喜多方市の「しゃくなげホーム」で施設の清掃や利用者の方々との交流活動を実施したほか、修養団創立者・蓮沼門三の生誕地「愛汗苑」を見学。



3日目以降は宮城県へ移動し、名取市、石巻市の復興住宅集会所で、被災された住民の方々と交流した。また、山元町の震災遺構中浜小学校、石巻市のみやぎ東日本大震災津波伝承館を見学し、地震の爪あと、またその恐ろしさを肌で感じた。

名取市では、令和6年度SYDボランティア



奨励賞で文部科学大臣賞を受賞した「宮城県農業高等学校桜プロジェクト」の生徒さんが植樹を手がける千年希望の丘で活動の説明を聞いた。

参加者は日々の振り返りの中で、グループごとにその日の感想を漢字やキーワードとしてまとめ、期間中のテーマである「君たちはどう生きるか」を基本にグループごとに話し合い、最終日にその成果を発表した。



4/11…「青年ボランティアゼミナール」“人生を変える冒険を～世界青年の船・東南アジア青年の船・国際社会青年育成事業”

33人 《藤村和輝、沖和樹、森山倫》



2024年度内閣府国際交流事業に参加した藤村和輝さん(世界青年の船)、沖和樹さん(東南アジア青年の船)、森山倫さん(国際社会青年育成事業)が活動報告。参加中の研修活動、プログラム、期間中におこなった研究について紹介したほか、事業を通じての感想を発表した。

予 定

4/20…「青少年活動(キャンプ)担当者会議」
〔Zoomオンライン開催〕

4/27～29…青少年活動指導者の集い「全国おとな自然体験キャンプ」〔福島県・ぼんたいふれあいぴあ〕
《保坂正志、志村和也、板倉和也、谷野渉、増田航介、林春幸》

5/3～5…「桧原湖畔子ども自然体験春キャンプ」
〔福島県・ぼんたいふれあいぴあ〕
《谷野渉、増田航介》

伊勢青少年研修センター事業〔三重県伊勢市〕

4/8～11…第1233回「みかく講習会」23人
《岡村精二、原伸介、武田数宏、山崎政弘、板倉和也、斎田聖生、竹本英美》



(写真は修養団伊勢 Facebook から)

東京・神奈川・愛知の計6社から受講者が参加。新入社員の参加が多く、新年度、また新社会人のスタートにあたり伊勢で修練の4日間を過ごした。

主催事業・活動等

報 告

4/5…修養団山都愛汗の会「愛汗苑整備作業」
5人〔福島県喜多方市・愛汗苑〕



春の訪れにともない、愛汗苑の雪囲いの取り外しと整備作業を実施。大雪での倒木枝折れ等が多くチェーンソーでの作業をおこなった。
〔発信・小澤清一〕

特別寄稿

「SYDボランティア友の会 最終活動報告」 会長 松谷 毅

2月28日～3月4日、沖縄県糸満市真栄平・真壁地区において、最後のご奉仕となる「第37回沖縄戦遺骨収容活動」を実施しました。

15歳から88歳までの24人(初参加は11人)が参集。修養団の御手洗康理事長、蓮沼力太郎修養団第二代主幹息女の桑野様と北海道から戦没者ご遺族の大熊夫妻が参加され、さらには現役の神職の方4人にもご参加いただいた、有終の美を飾るご奉仕にふさわしい編成でした。



沖縄県護国神社に正式参拝

好天に恵まれた中、かつての激戦地において日本国の礎いしづえとなられた方々への敬意と感謝の愛の汗を流し、「南北の塔」にて全国各地から賛助協力下さった方々のお心も添えて慰霊祭を斎行、すべての活動を無事終了いたしました。



「南北の塔」の壕

なお、沖縄県護国神社での結団式において、60年にわたる修養団活動、特に遺骨収容活動への功績により令和6年度「名誉団員称号」を受賞した沖縄がじまる会の宮城英次会長に、御手洗理事長から楯が授与されました。



宮城会長(写真・右)に御手洗理事長から楯が授与された

今回をもって、昭和61年から40年にわたる沖縄戦遺骨収容活動を終えることとなりました。

(延べ1213人参加・787柱収容)

これまで全国からご参加・ご協力下さいました皆様方に、心から御礼申し上げます。

ありがとうございました。



「南北の塔」での慰霊祭を終えて

〈発行・連絡先〉

SYD(公益財団法人修養団) 社会教育部
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2
☎03(3405)5441 FAX03(3405)5424
E-mail : info@syd.or.jp
ホームページ : <https://syd.or.jp/>

SYD

検索